

事業所名

社会福祉法人リンク 放課後等デイサービス  
Withひろば早島

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

31日

法人（事業所）理念		利用者、家族、職員、地域の方などすべての人たちとのつながりを大事にし、障がいをお持ちの方が暮らしやすい街づくりに貢献します。			
支援方針		お子様が「わかる!」「できた!」と感じられる経験を大切に積めるようにしています。今必要な力だけではなく、これからの成長を見通して、今身につけていきたいことを保護者の方や学校の先生方と一緒に考えていけるようにすることを大切にしています。そのために、一人ひとりの発達や特徴を評価し、人と関わりのレベルシートやTEACCHの考え方等を参考にしながら支援方法を考えていきます。			
営業時間		①14時30分から	②9時00分から	③13時15分から	17時15分まで 12時15分まで 16時30分まで
		送迎実施の有無		あり （早島町内） なし	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	日々の健康状態や生活リズムの把握をしつつ、基本的な生活スキルが獲得できるような支援を考えます。荷物や玩具・道具の片付け、学校の準備、身だしなみへの気付きなどを取り入れています。また、場所の構造化で「どこで何をすべきか」を分かりやすくしたり、スケジュールや手順書を使って見通しをもって活動に取り組みやすくしたりしています。その他に、公共施設を利用した際の振る舞い方や、交通ルール、公共交通機関の使い方を習得できるように活動を組み立てています。			
	運動・感覚	身体の動きや手先の操作性の向上に楽しく取り組めるような支援を考えます。（活動例：キャッチボール、手押し相撲、長縄など） また、道具を使うなどの様々な微細活動も取り入れています。（活動例：定規、コンパス、濃淡塗り絵、シャープペンシル力加減など） その他に、着席姿勢が不安定なお子様の場合は、その理由を探り、姿勢を保って集中力が持続しやすくするための支援を考えていきます。（例：足元にバランスボードを置く、凸凹の座布団を敷いて座る、椅子の脚にバンドを掛けて足を動かすことができるようにする等）			
	認知・行動	今理解できていることを評価して、一人ひとりの理解や特性に合わせた支援を考えます。数字・文字、物事のルールや原因等の理解、相手の気持ちに気付くことや自己理解を高めるために、課題やゲーム等を取り入れています。（活動例：文章課題、言葉探し、3ヒントクイズ、危険予測など）また、時間感覚や自分の行動をコントロールする力を高めることができるよう、手順書やスケジュール、タイマーなどを使用して働きかけています。			
	言語コミュニケーション	お子様がコミュニケーションをとる楽しさや嬉しさを感じることができるように支援をしていきます。必要なお子様には言葉のみではなく、ジェスチャーや要求カードを使いながら自分の思いを伝えられる環境を整えたり、場面に応じた他者への伝え方を一緒に考え、実践できる場面を作ったりしています。（活動例：ソーシャルスキルカルタ、伝言ゲーム、インタビューゲーム、借りてこようゲーム、持っていますかゲーム、ヒトトイロゲームなど）			
	人間関係 社会性	人との関わりの段階（接近・並行・共有・協力・ルール遊び）を評価して、社会性の段階に合わせた支援を考えます。（活動例：ソーシャルスキル、暗黙のルール、自他との違い、YesNoゲーム、ヒトトイロゲームなど）			
家族支援		○わくわく子育て勉強会（3回連続） ○かがやき手帳を書く会（年2回）		移行支援 ○引継ぎ書類の作成 ○担当者会議への参加	
地域支援・地域連携		○小学校への見学 ○外部講師講演会実施（年2回） ○早島町障がい福祉をとりまく会		職員の質の向上 ○外部の大学教授によるスーパーバイズ ○事業所内勉強会 ○社会福祉協議会等開催の研修会や講演会への参加	
主な行事等		○毎月：特別活動（買い物、クッキング、公共交通機関の利用等） ○6月、11月：参観日週間 ○7～8月：水遊び週間 ○12月：クリスマスイベント週間			